

『信州の伝統工芸に会う 信州紬と加賀友禅のハーモニー』

長野県づいてのチャコちゃん先生。今度は銀座で、チャコちゃん先生のきものジャーナリストの原点ともなった信州紬について語ります。今回は、提携都市でもある石川県の加賀友禅との組合せがお題。会期中は、作家さんの作品展示もご覧いただけますので、ぜひお出かけください。



銀座NAGANO
〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目6-5
NOCOビル 1・2・4F
TEL:03-6274-6015(代表)

中谷比佐子講演

「信州紬と加賀友禅の組み合わせと着こなし」

日時：1月16日(土)14:00~15:30

場所：銀座 NAGANO 2F イベントスペース

(すずらん通添い。銀座駅A1・B5出口から徒歩1分。TEL 03-6274-6015)

参加費：無料 予約不要。

◆信州紬と加賀友禅の作品展示は、4日間の開催です。

日時：1月14日(木)~17日(日)10:30~18:30

KOSMOS 屋 のオススメ!

最高品質素材のショールご紹介中 ¥10,000~

薄くて抜群の温かさ。チャコちゃん先生も愛用の最高品質カシミア(パシュミナ)ショールをご紹介。シルク等を織り交ぜたタイプも。

お年玉企画 定番着物下着 10% OFF 12/30~1/末

期間中にご注文分を割引!在庫や詳細はお問い合わせ下さい。

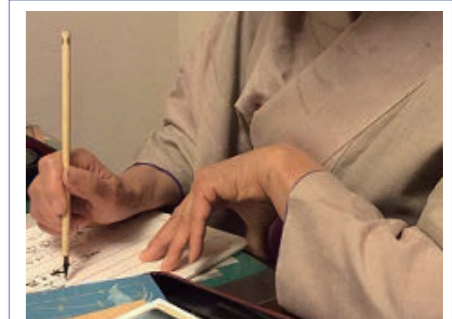


インドらしいペイズリー柄や、無地もあります。

● 比佐子好みのきもの ●

チャコちゃん先生がずっと着続けてきたホンモノのきものたち。改めて、ひとつずつご紹介していきます。いずれも貴重な染織品となったいま、じっくりと手にとってご覧ください。

- 1月は『結城紬の会』 1月19日(火)~末日頃まで
今年久しぶりに皆さんと産地イベント「きものday 結城」(11月予定)へツアー予定ですので先に一度、結城展をいたします。長年、結城紬大使を務めるチャコちゃん先生が、なぜこれほど惚れ込んでいるのか。「はたおり娘」「高機」「地機」の違いは?現物を見ながらその違いを確かめてみてください。
*1月20、21日の14時~ チャコちゃん先生レクチャー有り(無料)
- 2月は『草木染あれこれ展』 2月9日(火)~25日頃
草木染をがんばっている田中清子さんはじめ、山崎青樹先生のお弟子さんたちのショールや帯揚げなど草木染小品をご紹介します。
2月19、20日「寒中 紅花染研修ツアー」の前にぜひどうぞ。
*2月10、11日の14時~ チャコちゃん先生レクチャー(無料)



冬の暮らしには、ともあれ結城紬がなくてはならない。今年も、真綿の温もりにくるまれて、安心して仕事をしております。無地も絁も素敵ですよ。



十二月五日 つれづれスペース
クリスマスパーティー@原宿ルセーナ館にて

きもの二十四節気

小寒、大寒、立春、雨水

「着物を着ることは

自然法則を身につけること」

中谷比佐子

最近挨拶をしない家族が増えたのださうです。朝起きて

「おはようございます」

が言えず。また食事をするとき

「頂きます」「ごちそうさま」

も言わない家庭が多いそうです。

このあたりマエのことができない人たちがいま一流大学を卒業し大手の会社に勤め、日本をリードしようとしています。道を歩いていても突っかかって

「ごめんなさい」「失礼しました」

という言葉は一切聞くことはありません。

こういうことが気になるのは

「年取ったからよ」

と言われていますが、社員を多く抱えていた時代は、先輩が後輩に言葉使いや心遣いを伝えていました。

つまり社会人の常識とこの違いがあり、その中でも「女と男はこう違う」ということを徹底していつたえていました。

(裏面へつづく)

● 『比佐子つれづれ』 ●

今年は「つれづれ」を休もうと思ったのですが、思いがけず皆さまから「それはダメ」とお叱りを受け、従来通り毎月第4土曜日に開催します。1月に皆さまからテーマを出していただき、そのテーマに沿って深く学んでいきたいと思っておりますので、ふるってご意見をお聞かせください。

そして時には、本物を訪ねる着物研修の旅もいたします。こちらもお見逃しなく。

毎月第4土曜日 13:30～16:00

座長：中谷比佐子

会費：3,500円(税込。お茶&お菓子付)

まずは1月23日、

秋櫻舎にてお待ちしております。

*2月は右記研修旅行となります。

《着物研修の旅予定》 【要予約】

2月19-20日(金,土)「山岸幸一先生 寒中紅花染 in 米沢」ツアー
今が旬の紅花染、山形米沢の山岸幸一先生の工房を訪ね、秋櫻舎の下着の染めを見学。ハンカチ紅花染体験をします。ご興味おありの方、詳細お問い合わせください。

6月14日(火)「農家 大森さん 大麻の畑 in 栃木」

11月「きものDay 結城 in 結城市(奥順)」

その他、江戸小紋の研修や染織組合の人々との懇談会検討中。

● 「ナイトコスモス」 ● 【要予約】

今年のナイト・コスモスは、「大自然の法則を学び、それを日常生活に生かす」という趣旨で行います。いま世直しのための学問として、若い世代に人気の「実践哲学」のスピーカーをお招きし、勉強して日々の暮らしでその考えを実践していきたいと思っております。お腹のすく時間帯ですので、軽食を用意いたします。

毎月第1金曜日 18:30～20:00 会費：5,000円(税込。軽食付)

1月8日 中谷比佐子

着物を通して日本のアタリマエを広める。

2月5日 ゲスト：小林朋代さん

世界各国でボランティアをする一方、「実践哲学」を研究、実践。

3月4日 ゲスト：竹村宏史さん

大手企業の財務重役。実践哲学推進者。

4月1日 ゲスト：周藤緑さん

着物を着て鑑定する占星術師。最近愛称鑑定を盛り込んだ結婚相談所を開設。宇宙の法則を学び、その動きの中自分らしく生きる。

● 日本の風水探訪 ● 現場で風水講義を行います 【要予約】

着物の探求をしていたら、風水に出逢ったチャコちゃん先生。勉強を始め30年になります。日本は「聖徳太子」が開いた「和の風水」が存在し、それは着物と切っても切れない関係があり、そこに立居振舞、着装の原点などを学ぶことができます。着物と風水のさらに奥を知るために、今年は外に出て、都市の風水の残照を(近代、打ち壊されていることが多い)をみながら、祭、食事、言葉の作法などを学び合いたいと思っております。風水だけに興味ある方も大歓迎です。

初回は2月8日(月) 旧正月の鎌倉探訪。

鎌倉時代の都市づくり、そこで発達した手工芸などを探索、日常の生活に生かしていきたいと思っております。お昼には「鎌倉大根」を賞味します。

参加費：10,000円(交通費、食事代別)

● 講演会 『きもの健康』 ●

京王百貨店内「おび冉」で、チャコちゃん先生のミニ講座「着物解体新書」ダイジェスト版開催です。聞きそびれた方、週末ならという方はぜひ。

日程：1月30日(土)

2月14日(日)

各日 14～15時

参加費：無料

場所：おび冉

(京王百貨店新宿店6階和装売場)

*着物の下着やシルク製品の販売も

いたします。

ある日、初期にいたスタッフが遊びに来て「中谷さんの言うように完全主婦をしているけど、着物を通して学んだ手仕事の尊さや、ものを大事にする心がけ、糸一本にも感謝する心が子育てにとっても役立つ」と。結婚をしたら主婦を完璧に、子供を産んだら子育てに専念、その上で社会に役立つことをやりたい、それが自分の天命と思うのであればその仕事をしてほしいけどみんなが外で働いているから自分もーというような中途半端な心構えだったら、家族がおかしくなるからと言いつつ聞いていました。それは私自身の両親の生き方を「是」と思ったからです。

親不孝は自然法則に反すること

若い時、両親のすすめのものを全て拒否し、二人の期待を覆すことに生きがいを感じていた「跳ねっ返り」の私でした。着物を着せられることに嫌悪感を感じ、母が作る料理を田舎料理と決めつけ、お茶やお花を習わせたい気持ちを踏みにじり、西洋

かぶれでお茶のお稽古に行くふりしてその月謝をピアノのレッスン代に回すなどー。

両親の考えが日本人の心そのものだと気づいたのは着物の仕事を始めてから。着物を理解するには、両親たちの世代が身につけていた作法が全てでした。それはとても単純でアタリマエのこと、お日様が登るときに起きて、暗くなったら休む。男と女の「分限」が違うこと。男女同権などなく、親と子もしっかりとした「役割」があり目上の人を敬う心を持つこと、先祖のおかげで自分がいまこの世にいること。神社の前を通るときは手を合わせる。どんなときもお天道さまが見てるから、盗んだり、いじわるをしたら、それは倍の不幸となつて自分にかえってきますよ。因果応報はかならずある。きちんとして生きていけると自分が思っても、自分自身を犠牲にした親切だったり譲りだったり、それは自分を大事にしないことだから、神様の目からみたら自然法則にかなったものかどうか

かというようなことが小さい時からのしつけの中にあるのですね、そのしつけを素直に聞かず、両親の思い通りに生きなかつた私は結局は両親の思いを知るために、長いこと着物に携わることになったのだと理解しています。

着物は人の体を健康にし精神を健やかに穏やかにする魔法を持っています。しかもそれは自然素材のものでないと味わえません。体と同じように呼吸する自然素材が着る人を守るのです。太陽が東から必ず顔を出すように、昼があり夜が来る。更に善があつて悪がある。このアタリマエのことを私たちはもっと認識しなければいけないとつくづく思うのです。

千年以上も同じ形の衣類を身に着ている民族は日本だけ。それは日本の国に住む限り、この形が自然法則にかなっているからです。着物を身につけることで日本人の心を蘇らせたいたいものです。

着物解体新書

ダイジェスト

着物は身体に着けるもの

身体は骨と筋肉そして細胞で構成されている。自分の体は自分で管理。

自分自身の心は自分自身が自分で用います。

着物を着るといふことは

自分の身体を識る事

毎月行われている解体新書ダイジェストを、少しだけお伝えします。もっと詳しく知りたい!という方は、是非お出掛け下さい。

第四回「紐と身体」

出かける場所、着物の種類、どんな自分でいたいか。紐は要となります。

◆ 紐の素材 ◆

モスリン、羽二重、楊柳、博多、真田紐、木綿、ガーゼ、麻など、季節、着る着物、締める位置により、より気持ち良い素材があるようです。

既製品をそのまま使うだけでなく、自分に合った紐の長さ、幅も工夫して締め心地の違いを感じてみてください。

◆ 紐の位置、締め方 ◆

着物紐の鉄則は「前下がりで、後ろ上り」。胸紐は、背中心でたすき形に交差、脇で締めたら、前はきつく締めず、みぞおち、あばら骨を避けて中心を下げる。伊達締で軽く押さえます。

腰紐は、紐類で一番強く締めます。骨盤のちよと上、丹田を感じて、お腹をひこめて上手く締めればきつく感じることはありません。自分の身体が心地良く感じる位置を探してください。